



ベトナムで鋼材流通加工事業を展開 日本式の現品管理と短納期販売を実現

NSSOLのシステム開発テンプレートで在庫管理システムを短期構築

背景

ベトナムで需要が増大する建築用鋼材の流通加工事業をゼロから立ち上げる。時間、人材、予算に限られるなか、情報システムを導入して日本式のきめ細かな現品単位の管理と短納期小口販売を実現したいと考えた。



ビナスチールセンター
社長
犬井 佳孝氏



ビナスチールセンター
プランニングマネジャー
ドン バン クーン氏

ソリューション

鉄鋼業界の業務やシステムでトップクラスの知識を持つ新日鉄住金ソリューションズの「鋼材二次加工業向けシステム開発テンプレート」を活用。当初は最小限の機能を開発するが、事業の発展に合わせてシステムを拡張できるようにする。

成果

システムにより、豊富な在庫をきめ細かく管理し、即納要請に対応する体制を事業開始と同時に整えた。母材の入庫から、製品出荷までの全情報を記録しており、記録を自由に抽出してレポート作成や分析に活用している。

日本式業務の基盤として在庫管理システムの構築を検討

ベトナム・ホーチミン市南部で、建築用鋼材の保管・切断加工を手掛けるビナスチールセンター(以下、VSCC)。同社は、商社の岡谷鋼機が2011年に100%出資で設立した会社である。ベトナムでは工場建設向け鋼材需要が高まっており、VSCCは同国プレハブ鉄骨建物最大手のPEBスチールビルディングスなどへ製品を提供している。

VSCCが在庫管理システムの導入を検討したのは、同社の設立準備が本格化した2011年1月である。建築用鋼材は市場競争も激しい。VSCCは在庫管理システムを活用し、日本式の現品単位の管理と短納期小口販売を実現。中長期的には、複数の鉄骨建物事業者が受注前に見込みで抱える在庫をプロジェクト単位で一元管理する「プロジェクトプラットフォーム」を目指すことで事業競争力を強化したいと考えた。

「鋼材二次加工業向けシステム開発テンプレート」で新システムを構築

VSCCはゼロから事業を立ち上げるため、業務プロセスが固まっていなかった。また、設立当初は事業規模が小さいため、システム予算は限られ、専門要員もいない見通しだった。こうした条件下、同社がITパートナーとして選択したのが新日鉄住金ソリューションズ(以下、NSSOL)である。NSSOLは「鋼材二次加工業向けシステム開発テンプレート」による新システムの構築を決める。これは鉄鋼製品流通加工事業者の海外進出支援を目標にしたNSSOLのスピード開発ソリューションで、複数用意したひな型を顧客要件に合わせて拡張・カスタマイズし、短期間・低コストでシステムを導入できる。事業のスタート時に開発する機能は最小限にするが、事業の発展に合わせてシステムを拡張可能で、プロジェクトプラットフォームの業務までをカバー可能だ。

全製品の記録をトレース、自由に抽出してレポート作成にも活用

VSCCは在庫管理システムを、工場が稼働した2011年10月から運用している。クライアントPCやサーバーはベトナム国内で調達。システムは日本で開発して導入した。運用監視については、NSSOLのエンジニアが日本からリモートで行っている。

VSCCはこのシステムに、母材であるコイルの入庫および出庫、切断加工を行った後の製品である鋼板の入庫および出荷の情報を記録し、日本式の現品管理と短納期小口販売を行うための業務基盤として活用している。切断加工によって形状が変化しても記録のトレースが可能で、製品に万一クレームが発生した場合も迅速に母材までさかのぼって特定できる。記録は、日付や顧客名などの項目を基にデータベースから自由に抽出可能で、表計算ソフトに取り込み、レポート作成や分析に活用している。

Key to Success

VSCCが鋼材二次加工業向けシステム開発テンプレートをベースとした在庫管理システムを導入した背景には、工場などのプレハブ鉄骨建物向け建築用鋼材に使う鋼板を、日本式の現品管理と短納期小口販売で提供し、事業競争力を高める狙いがある。

犬井佳孝社長は「ベトナムを含めた新興国では、プレハブ鉄骨建物を建設する際、鋼板を加工して溶接やボルトでつないで柱などを作り、できるだけ事前に組み立てて設置します。当社は、豊富な在庫をシステムで完全に見える化していることから、短納期小口販売ができることが強みです」と語る。

その在庫管理システムの企画・構築から運用までをトータルに支援したのが、NSSOLである。

「当社は、ゼロから事業を立ち上げたため、工場建設や設備導入、従業員の雇用・教育など、取り組むべき仕事が多数ありました。システム構築はそうした多くの仕事と同時に進めなければならず、幅広い支援が不可欠でした。NSSOLは鉄鋼業界の業務やシステムに関するトップクラスの知識を持つと同時に、システムの企画から運用までの幅広い支援ができます」と(犬井氏)。

予算や工期に限りがあるなか、システムには十分な機能を盛り込んだ。

「出荷する鋼板はもちろん、母材であるコイルの切断加工で発生する端材にも番号を付けて管理できるようになっており、製品の原料についてお客様から質問がきたときも母材の品質情報を基にスピーディーに回答ができます。一つの工程についてだけなら競合他社も同じことを実現しているかもしれませんが、全工程についてトレースできる仕組みを持つ会社は当社以外

ベトナムにないでしょう」(犬井氏)。
システム利用者の評価も高い。現場をとりまとめるプランニングマネジャーのドン バン クーン氏は「毎日、在庫管理システムを使っています。操作がシンプルで分かりやすく、自由な項目で記録の抽出が可能で、表計算ソフトとの連携も容易です」と述べる。

きめ細かな在庫管理が実現 事業成長に伴う機能拡張も容易

システムの監視とサポートは、NSSOLが日本国内からネットワーク経由で遠隔的に行っている。「リモート監視でも大きな問題はありません。重要なシステムだけに社内に専門要員を確保して運用を行うのが理想ですが、事業の立ち上げ時期にそこまでのコストはかけられません」(犬井氏)。

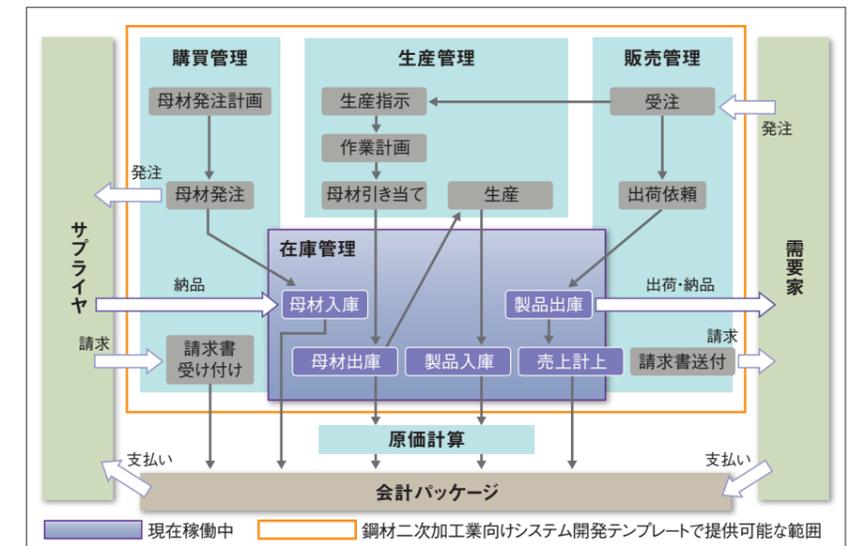
クーン氏はNSSOLの運用支援について「専門性が高く対応が早いと思います。エンジニアは日本にいますが、とても手厚いサポートに感謝しています」と述べる。

在庫管理システムは、同社の業務基盤の一つとして不可欠になっている。

「情報を簡単に抽出し、表計算ソフトでレポート作成や分析ができます。入力ミスは一切なく、異材出荷も防げます。在庫状況が見える化できているため、経営者も、会計スタッフも、現場作業員も、システム上の同じ数字を見ながら会話ができます。迅速で正確な議論ができる点はとても大きな強みになっています」(犬井氏)。

犬井氏は今後の抱負を「当社には現地・現物・現人主義という言葉があります。当社の従業員は私以外全員ベトナム人です。ベトナムの会社として根を張り、ベトナム経済の発展に貢献する会社を目指していきます」と語る。

■ビナスチールセンターが導入した在庫管理システムの概要



- コアテクノロジー
鋼材二次加工業向けシステム開発テンプレート、在庫管理、.NET、業界トップクラスの業務知識
- システム概要
 - サーバー：Windows Server×1
 - アプリケーション：鋼材二次加工業向けシステム開発テンプレート
 - ミドルウェア：Microsoft SQL Server